

# 校長室の窓から No.59

☆☆☆☆☆五城目町立五城目小学校 校長室だより 平成 29年 12月6日 (水)

- 創立 (143周年) 明治7年5月7日
- 児童数 278名 (H29.12.1日現在)
- 教職員数 45名



※スマートフォンからもご覧になることができます。

## 体験的な学びの成果, 内外から評価

師走を迎え、冬休みがすぐそこまで近付いてきました。地元有志のボランティアの皆さんによって設置された恒例のイルミネーションが、今年も鮮やかです。6校時を終えた五小っ子が帰る頃には、校舎3階中央付近に素敵なサンタさんが浮かび上がっています。五小っ子の心に響く何よりの贈り物であると心より感謝しております。今日は4・5・6年生の学習状況調査が行われました。どの子も真剣に問題に取り組みました。ご家庭でも一言、ぜひ声をかけてください。

さて、ふるさとの学びを基盤とした教育活動の実践は、いよいよ終盤戦に入ってきました。11月下旬、学校園で栽培し収穫したサツマイモを朝市で店を開いて販売した3年生、「広い世界へ～五城目で世界一周～」のまとめとしてAIU（国際教養大学）を訪問し海外留学生にワークショップを開いて堂々と発表したり、歌や踊りを紹介したり手作りパンフレットを配付したりして五城目の良さを積極的に発信した6年生の姿に感嘆しました。また、1日には5年生が学習田で収穫したお米を使って『ボン菓子（ホットド）ン』を作りました。事前に配付した引換券との交換で袋詰めしたボン菓子を全校児童にプレゼントしてくれました。取材を受けた記事や撮影した写真でその一部を紹介いたします。

県生涯学習センター「虹色」 No.173 掲載記事より

寒い中でも歓迎一家！



### 虹さんぽ

500年を超える歴史  
「五城目朝市」  
五城目小学校  
体験学習



「さんぽ」をしよう！

11月22日の五城目朝市、子どもたちの元気な声に誘われて歩いた先には、自分たちで育て収穫したサツマイモを販売する五城目小学校3年生たちの姿がありました。

1495年来500年超の歴史ある朝市は、近隣で収穫された野菜等を持ち寄る農家によって引き継がれてきましたが、今は町内に暮らす子どもたちの学びの場にもなっていました。

五城目小では「総合的な学習の時間」に朝市での活動を盛り込み、五城目町の地域文化に触れる体験学習を推進しています。同校の戸

部裕隆校長は「地域や働く人の生き方に触れる学びは、主体性、社会性などが高まり人間的な成長を促す」と、体験学習の意義を語っています。また、お客さんに語りかけていた児童は、「私たちが作ったものをどうやって食べてくれるのかなど、お年寄りとお話することが楽しい」と話していました。

売り手と買い手の仲立ちとなる会話の機会がめっきり減ってしまった昨今、この朝市での体験は新鮮な記憶として、次世代の子どもたちの心に残り続ける気がしました。

5年総合 全校児童にボン菓子プレゼント

6年総合 AIUで海外留学生へワークショップ



12/1 JA湖東青年部の皆様のご協力がありました。



11/30 呼び込む際の英語表現も使ってレベルアップしました。